国立病院機構近畿プロックでの取り組み

独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター統括診療部長 山崎麻美 近畿プロック事務所 医療課長 陳 若 富

女性医師が子育てしながら勤務を続けるために

職場環境(物理的なもの)上司や同僚の理解・認識

自分の意志や気力子どもの育て方仕事に対する考え

家族の理解

離職する理由 その1

- 子どもができたらやめようと思っている
 - ・ 3歳児神話の浸透
 - 3歳までは母親の手で育てなければ ならない
 - 歩けもしないときから保育所に預けるなんて、そんなことしてたらまともな子どもに育たないよ
 - オンリーワン神話
 - ・いい育児をしよう症候群

家族の理解

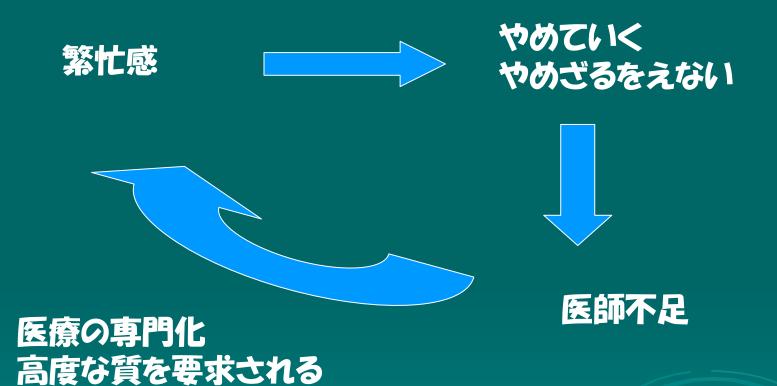
自分の意志や気力 子どもの育て方 仕事に対する考え

離職する理由 その2

- > 働きたくても働けない
 - ・妊娠出産の為の制度がない
 - 子どもを預けるところがない
 - 常勤はできない
 - 日勤はできるけど、当直や呼び出し・オンコールに 対応できない
 - ・ 休める制度があっても実際は他の先生に迷惑 かけるからやめざるを得ない。
 - 子どもができた時点で無理だと決め付けられている

職場環境(物理的な もの)・上司や同僚 の理解・認識

今の医療の状況



説明・適応の検討・技術の質の向上

女性医師の復職を困難にしているものは?

勤務形態の柔軟化・フレックス タイムの導入・専門職パート

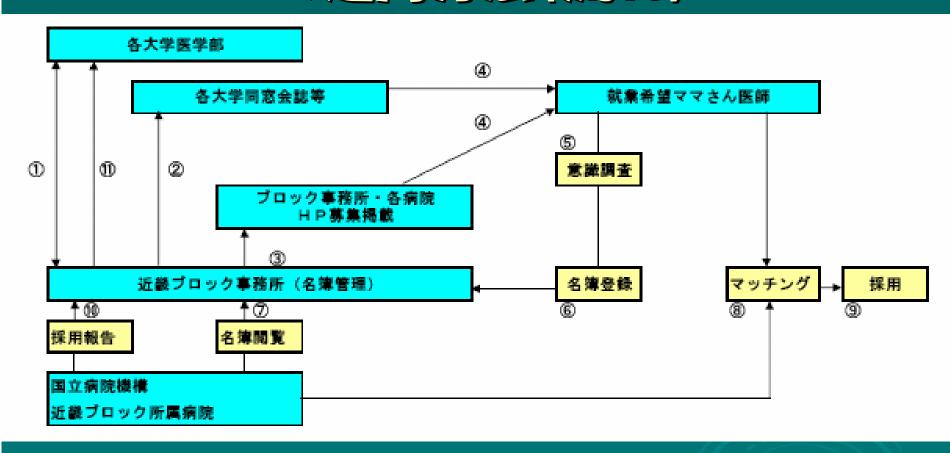
復職支援研修

- > 復職できる条件がない
- 〉どんどん進歩する技術や知識についていける かどうか不安
- > 医局の人事から外れる
- > 情報がない

「ママさん医師登録システム」とは

▶ 育児等の諸事情により在宅を余儀なくされている女性医師の方々の就業条件に、可能な限り合わせた多様な勤務形態を導入し、国立病院機構近畿スロックの病院とのマッチングを行うシステム

「ママさん医師登録システム」の運用方法(流れ)



🥭 近畿の国立病院 国立病院機構本部 近畿ブロック事務所>採用情報>ママさん医師登録システム - Microsoft Internet Explor ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H) 4 戻る * ⇒ * ② ② △ □ ② 検索 函お気(こ入り ③ メディア ③ □ □ ・ アドレス(D) 🎒 http://218.251.120.242/info/mama.html 患者様の目線に立った懇切丁寧な医療を提供します。 近畿の国立病院 独立行政法人 国立病院機構本部 近畿プロック事務所 採用情報 トップページ サイトマップ ■「ママさん医師登録システム」へのご案内 ▶ 受診ガイド ◆ あなたのキャリアを活かせる病院をみつけてみませんか ◆ ▶ 救急受診 国立病院機構近畿ブロックでは、『ママさん医師登録システム』 を導入しております。 ▶ 医療機関の方へ 『ママさん医師登録システム』とは、育児等の諸事情により在宅 を余儀なくされている女性医師の方々の就業条件に可能な限り ▶ 当事務所について 合わせた多様な勤務形態を導入し、国立病院機構近畿ブロッ クの病院とのマッチングを行うためのシステムです。 ▶ 各病院のHPへ ▶ 関連サイト 国立病院機構の病院と勤務条件等のマッチングを行い、あなた のキャリアを活かせるステージを見つけてみませんか。 ▶ 採用情報 >>「医師募集(常勤・非常勤)のご案内」はこちら ▶ 学生募集 入札のご案内 ■『ママさん医師登録システム』の運用方法(流れ)・登録様式 ▶ お問い合わせ 『ママさん医師登録システム』の具体的な運 『ママさん医師登録システム』 用方法を知りたい方は、左のボタンをクリッ ファイル (PDF) クして下さい。(PDF) 看護職員募集要項 のご案内 『ママさん医師登録システム』登録様式を希 『ママさん医師登録システム』 望される方は、左のボタンをクリックして下さ 臨床研修医の募集 登録様式ファイル (PDF)

HOSPnet

後期臨床研修医

スタート fill Usbnump

い。(PDF)

>>PDF形式のファイルを見るには

🔐 Re: 南和歌山医療センター... 🎒 近**業の国**

『ママさん医師登録システム』登録用紙

『ママさん医師登録システム』への名簿登録を希望される方は、ご希望の勤務条件等 について下記の事項に回答をご記載下さい。

なお、実際に勤務していただく場合の勤務条件等については、病院とのマッチングに より偏別に調整を行うこととなります。

. .

	主な器層		斯勒可 由	条件 (曜日·日	A 88 W 17
年月日	病院名	職名	MONTH.	KIT (MED - I	1 1 7 1
- Nu					
		24.0			
- 2		0.00			
**					
*					
~					
~			斯希望地域		
□ 現在の		C. Commen			
D 全< B	務していない タイムで勤務し	ている	Γ	日答	
① 全く動 ② パート ② その他	務していない タイムで勤務し	tvě E	\ \ \	日答	8
① 全く動 ② パート ③ その他	務していない タイムで動務し 具体的 能期間(該当番	ている に 号を回答して	Fèli)		
① 全く動き 会べの他 の が で の 動物 乗り を で の 手程 の で の 手程	務していない 原タイムで動称し 具体的 能期間(該当番 で動務が可能を 使 ②1年程度	ている に 号を回答して	Fèli)		
かから かかか かかか かか かか かか かか かか かか かか かか かか か	務していない タイムで動務し 具体的 能期間(該当番	ている に 野間は ③2年程度	Fさい) ④それ以上	日普	3

※ 登録内容に変更が生じた場合は、近畿ブロックまで連絡をお願いします。

大阪医療センターでの取り組み

- > 女性医師の勤務環境 改善プロジェクトのとり くみについて(平成17 年11月から)
- > 平成18年3月11日 『お休みしている女性医 師の皆さん!
- そろそろ復帰してみませ んか』シンポジウム について



医師数:220名

女性医師:60名(27.2%)

プロジェクトの4つの課題

- > 就労形態の柔軟化:
 - ・女性医師の離職を防ぐ
 - ・離職している医師の雇用を促進
- > 再就職支援研修コース設定
- > 育児支援;
 - 24時間保育
 - 病児保育
- > 環境整備
 - ・院内売店の充実
 - ・ 当直室・宿舎の整備など

職場環境(物理的なもの)・上司や同僚の理解・認識

各科責任医長へのアンケート パート医師に担当してもらいたいところ

- > 外来
- > 各種検査
- > 林幹
- > 当直業務·当直明什業務
- > 手術の助手
- > 手術休診日の外来

特に担ってもらいたいところ

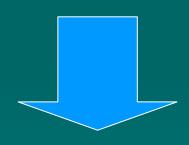
- > 産婦人科
 - 手術日の外来
 - 更年期外来
 - 思春期外来
 - 癌検診
 - 手術の助手
- > 耳鼻咽喉科
 - 外来
 - 手術の助手
- > 放射線科
- > 麻酔科
- > 救命救急センター

> 外科

- 各種検査(消化器内視鏡検査、エコー検査など)
- 局所麻酔の小手術
- ・ 癌サポートチーム、NSTチー ムへの参加
- 手術の助手
- > 臨床検査
 - 病理診断
- > 脳神経外科
 - 手術の助手
 - 臨床研究の補助
 - ・当直あけの外来

現実はいろんな意見があります

- > 別にこんな給料の安い病院で、パートをしなくても、もっといい条件のところがあるのに。
- > 専門性のレベルを下げれば、働けるところは どこでもある。



何か違う

これからの救急医はおいしい!

- 1. 交代制勤務
- 2. チーム医療
- 3. 予定の立つ勤務体制
- 4. 救急教育活動
 - 生活設計を立てながら
 - ・ 将来設計を立てながら
- > 独身時代: 目いっぱいの仕事
- 結婚・出産前後
 いったん退職?
 家庭で担える仕事は?
 MC(教育)、 データベース管理、論文作成
- > 復帰してから
 - 片手間ではない、チームの 一員としての役割を
 - · 日勤業務で(ICU管理、麻酔、病棟管理)



麻酔科の場合(和が重要)

> スタッフの推移

	2002年度	2005年
スタッフ	5/1	7/3
レジデント・研修医	3/1	0/0
非常勤医	0	2/2

- > ママさん麻酔科医の問題点
 - 勤務時間が制限される
 - ・ 夜勤・オンコール・(当直)をしにくい
 - ・ お子さんの病気等で、急な欠勤や早
- > ママさん麻酔科医の対応(当科)

問題点を認識した上での気配り





育児支援

- > 保育所に関するアンケート(平成17年12月)
 - ・全職員へのアンケート
- > 回答(430名)
- 》要望
 - 24時間保育 78
 - 病児保育 43
 - ・保育時間の延長 30
 - 土日祝日の預かり 29
 - 学童保育 4

ママさん女性医師が増えると医療が変わる

- > 生活感を持った医療
 - ・患者さんの後ろにある生活·家族・社会がどれだ けみえるか
- 〉女性医療
 - ・患者さんの半分は女性
- > 子育で経験をキャリアとして活かす
 - 小児科·産科
 - ·小児外科·小児整形·小児脳神経外科

まず一歩を踏み出しましょう

- > 自己実現
- > 専門性を高めたい
- > 自分を活かしたい
- > 専門医を取るため
- > 医療を変える

みんなが変わる 必要がある

